



福井の教育体験し理解

アフガンの教員ら17人視察

越廼中

日本の教育を学ぶため、福井県を訪れているアフガンistanの教員らが13日、福井市越廼中で生徒と一緒に書写や英語の授業、給食を体験し理解を深めた。

国際協力機構（JICA）の研修プログラムで、小中学生の学力の高さなどから福井県が視察先に選ばれた。11日から18日まで20〜35歳の若手教員ら17人が幼稚園や小中高

生徒に教わり書写を体験するアフガンistanの教員ら13日、福井市越廼中

校、大学などを訪問している。

書写の授業では、生徒に書き順や筆遣いを教わりながら漢字に親しんだ。給食は豚肉や酒、甲殻類などを摂取しないイスラム教徒に配慮した献立が用意された。教員らと生徒は、少し緊張した様子で「日本は好きですか」「生徒は何人いるの」などと会話しながら食事を楽しんだ。

高校の校長を務めているシャヒッドヤル・スィナーさん(35)は「生徒の積極性や学校と家庭の連携が強いことに驚いた。まずは親などに学校行事への参加を呼び掛けることから始めたい」と話していた。（藤田有美）